



令和元年11月6日

各位

上場会社名 株式会社 高田工業所
 代表者 代表取締役社長 高田 寿一郎
 (コード番号 1966)
 問合せ先 総務部長 副島 淳一
 (TEL. 093-632-2631)

令和2年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と 実績値との差異に関するお知らせ

令和元年8月7日に公表いたしました令和2年3月期第2四半期累計期間(平成31年4月1日～令和元年9月30日)の業績予想数値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和2年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異

(1) 連結業績予想数値と実績値との差異(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 24,000	百万円 1,120	百万円 1,120	百万円 750	円銭 118.50
実績値(B)	26,956	1,660	1,610	1,075	169.90
増減額(B-A)	2,956	540	490	325	
増減率(%)	12.32	48.24	43.83	43.38	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月期第2四半期)	24,862	932	950	587	92.82

(2) 個別業績予想数値と実績値との差異(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 22,000	百万円 1,050	百万円 1,100	百万円 740	円銭 116.92
実績値(B)	24,678	1,525	1,521	1,041	164.59
増減額(B-A)	2,678	475	421	301	
増減率(%)	12.17	45.28	38.34	40.77	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月期第2四半期)	22,543	893	967	632	99.99

2. 差異が生じた理由

プラント業界において、お客様の国内生産設備の合理化及び省力化・自動化に向けた設備投資などが継続する中、売上面におきましては化学プラントの定修工事や電力設備の建設工事が増加したことにより、売上高が当初予想を上回りました。また、損益面におきましては、売上高の増加に加え、業務効率化によるコストダウンや生産性向上の推進に努めた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、上記のとおり、当初予想を上回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、今後も景気動向において不透明な状況が継続することが予想されるとともに、個別工事においても不確実な要素があることから、当初の予想数値を据え置いております。

以 上